グローバル・サプライチェーンと国際貿易

横田　一彦　教授　　E mail: kazuhiko.yokota@waseda.jp

1.　担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

グローバル・サプライチェーンと国際貿易に関する理論・実証研究。現在の研究テーマは、(1)経済制裁がサプライチェーンを通じて制裁国・被制裁国の所得格差や賃金構造に与える影響の分析、(2)少子高齢化が所得分配に与える影響に関する理論・実証研究、(3)途上国の経済発展などである

2.　指導方針

グローバル・サプライチェーンと国際貿易の分野で、学生が関心を持つ重要な論文を解説するとともに、各自の博士論文のテーマについて議論する。その前提となる経済理論(特に国際貿易論の基礎であるミクロ経済学)と計量経済学は、あらかじめ履修しておくことが望ましい。2 年目以降は、博士論文のテーマに関わる理論・実証研究を基本的な文献から最新の文献まで読み進め、博士論文を完成させる。

3.　学生に対する要望・その他

理論研究に必要な経済数学と、実証研究に必要な計量経済学は、入学前に学んでおくこと。また、国際産業連関表や企業レベルの取引データを用いた実証分析の手法にも慣れておくことが望ましい。